

2017年3月期第1四半期 決算説明会 主要Q&A

Q：第1四半期の受注増要因について

A：1Q期受注は、公共公益で複数年契約を含む官公庁向け大型案件があり、業務ソリューションが大きく伸びた結果、対前年+43億円の564億円となりました。

また、1Q期末の受注残は対前年+166億円の1,033億円となりましたが、その太宗は前記を含む、昨年来の大型複数年契約案件の積み上げによるもので、売上への貢献は今年度以降30億円/年程度となります。

Q：売上高及び営業損益の見通しについて

A：1Q期の売上高は、対前年-12億円の500億円となり、ほぼ計画通りに進捗いたしました。

2Q期も金融・鉄鋼の一部での減収の見通しはあるものの、全般的に足元のIT投資は堅調であります。これらを踏まえ、上期は、既公表の売上高1,030億円、営業利益87億円を確実に達成し、年度計画、売上高2,230億円、営業利益206億円の達成を目指します。

以 上